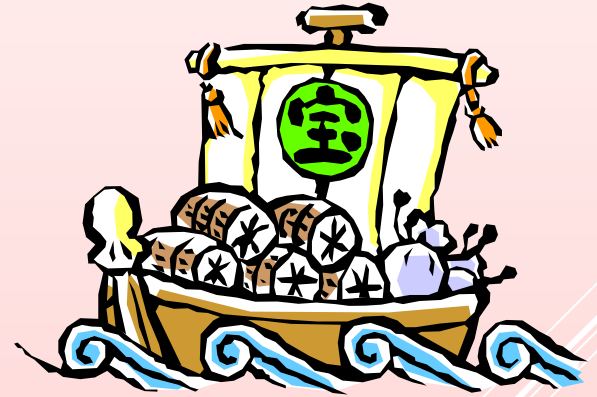


令和3年度 冬休み明け集会

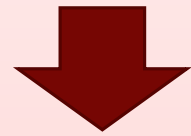
国際的視野を広げる
(その2)

明けまして おめでとうございます

- 1年の計は元旦にあり
- 合志楓の森中が大躍進する年に
- 本年4月からは3学年揃った通常の中学校に
- 新設校である合志楓の森中学校の真価が問われる令和4年



さて、校長から皆さんへ出した
「冬休みの宿題」は覚えていますか？



「国際的視野を広げる」
とはどういうことでしょうか？

皆さんが生きていく社会は

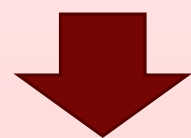
世界と競争したり

世界と依存し合ったりが

さらに進むであろう

グローバル社会

皆さんは9ヶ月間（4月～12月）で
いろいろな学習にタブレットを活用
できるように



言い換えれば

世界とつながる手段を
身に付けつつある

ただし、それだけで世界とつながることができるのか……？

もちろん「英語」

それに「国際的視野」

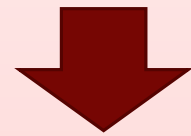
「国際的視野を広げる」 とはどういうことでしょうか？

- 国際的視野が広がった状態とはどのような状態か？
- 国際的視野を広げるためにはどのようにしたらよいか？

校長の私見ですが、国際的視野を広げるためには

- ① 国際的な共通語である「英語」を使いこなす力を含めたコミュニケーション能力
- ② 多様性を受け入れられる頭と心の柔軟性
- ③ 自国（日本）と他国の文化や伝統を尊重する態度とその基盤となる深い教養や豊かな人間性
- ④ 自分（日本）だけの利益ではなく、他者（世界）にとっての利益を考えられる視点
- ⑤ 自分の意見をしっかり持つために基となる真実を見抜く力や論理的に物事を考える力

必ずしも海外留学する必要はない

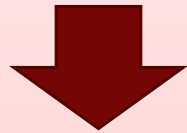


世界の方が身近にやっできてきている
いや、世界はもう身近にある

とにかく、
合志楓の森中の生徒たちに

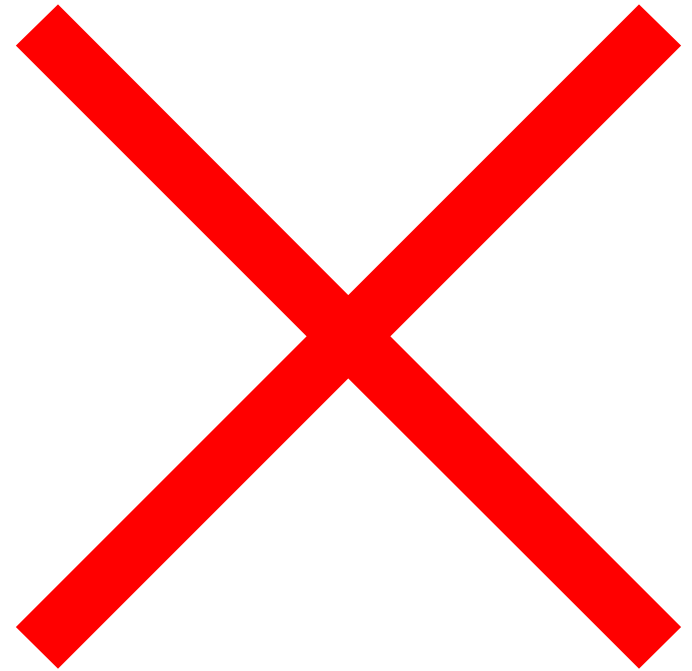
井の中の蛙

にだけはなってほしくない。



同時に、合志楓の森中は

国際的視野を広げやすい環境
であることも知っていてほしい。



再度、お決まりで……

いつ国際的視野を広げるか

今でしょ！

この中学生期でしょ！